

飯坂町史跡保存会 5月伝承講演会

『石那坂の合戦地は飯坂だった』

～石那坂飯坂説を考察する～』

源頼朝の鎌倉軍を迎え撃つ最初の合戦が行われた「阿津賀志山の合戦」とともに、信夫庄司佐藤基治の一族と常陸入道念西の一族を中心とした「石那坂の合戦」が『吾妻鏡』に記録されています。しかしその記録にはいくつかの矛盾があって、一般に「石那坂」に比定されている平石の伝承地石名坂にも疑問が投げかけられています。

現在、平石石名坂を含めた5つの「石那坂候補地」が発表されていますが、日本考古学協会会員で、県文化センター遺跡調査課にも勤務していた菅井敏美氏による比較検証では、飯坂説が最も有力という結論に達しています。

著書『石那坂』で、その「石那坂飯坂説」を唱えた著者の石原洋三郎氏による講演会が、下記の要領で開催されますので、地元飯坂の地名由来にも関連する新たな考察を、ぜひ皆様の歴史愛好心の好奇心を満たして頂けるお話を聞きにおいでください。

最後に「質問コーナー」も設けておりますので、質問事項があればお願いします。

飯坂町史跡保存会

記

演 題 『石那坂の合戦地は飯坂だった』
講 師 石原洋三郎氏
日 時 2026（令和8）年5月30日（土）
午後1時30分より
場 所 飯坂学習センター 2階支所大会議室